



大阪プロバスクラブ

会報 第401号

2025年2月12日発行

Monthly Bulletin of
The Probus Club of Osaka

- 例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111
- 例会日：2022年7月より毎月第2水曜日 12時～14時
- 創立2001（平成13）年7月9日創立記念式7月16日
- スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ
- 友好クラブ：箕面ロータリークラブ
- 会長：山下恵司 ○幹事：川端崇且 Tel：090-2702-7212
- 事務局：（幹事宅）〒562-0044 箕面市半町2-5-23
- 会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com
- 【検索】大阪プロバスクラブ会報
- 【検索】全日本プロバス協議会
（R6年8月の第11回総会で決定された新体制）
会長 馬場康博、幹事長 中田雅昭、会計 佐々木浩一
- 【検索】日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版：
R7年1月上旬～7年2月上旬までの更新分（順不同）

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報 234号	12月16日年次総会（次年度会長、役員等、承認され、紹介された）、その後忘年会。旭川プロバスクラブは20周年、他
東京八王子	プロバスだより 350号	「創立30周年準備計画」杉山担当理事、「六義園&東洋文庫・秋の紅葉ツアー」泉道夫、「国立能楽堂で能楽二番を鑑賞」内山雅之、残菊（雅）他
東京多摩	プロバスニュース 115号	12月4日定例会後忘年会。卓話「光る君へ」増山敏夫会員、寄稿「民謡よもやま話」堀井義昭会員、「横濱PCバーベキュー大会報告」伊藤健一会員、他
大阪	会報 第400号	近況報告「12月15日南座へ行ってきた」吉川栄子会員ご友人、近況報告「10月に奥飛騨温泉郷へ行ってきた」伊丹谷五郎会員、他
姫路南（二水会）	会報 第126号	「夢の磁石で世界に貢献」長谷川一彦、「コーヒーそしてミソスープ」岡本浩一、「ソフトボールに纏わる話」中野剛、枕の草子より、他
北九州	つながり NO.223号	12月卓話「写真で見る軍都・小倉の歩み」北九州市平和の町ミュージアム小倉徳彦氏、同好会活動報告（茶道クラブ「菜の花」、歴史文学講座、他）、他

今回 第402回 通常例会 2025年2月12日（水）
会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00

- 大阪プロバスの歌（作詞：渡辺孟 補詩：田村徳郎）
- ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時
元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
- ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ
見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
- ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気
世界に広がる和の願い 明日も愉快地に生き抜こう

- 『冬景色』（文部省唱歌）
さ霧消ゆる湊江（みなとえ）の
舟に白し 朝の霜
ただ水鳥（みづとり）の声はして
いまだ覚めず 岸の家

前回 第401回 新年例会 2025年1月15日（水）
会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00

◎新年例会

○司会進行：野村尚子会員・伊丹谷五郎会員

○ソング：吉川栄子会員 ●『いちがつ一日』

●食事タイム 乾杯：田中浩三会員

ワイン：シャトー・オー・マレ Chateau Haut Mallet



ワインラベル

（画像引用元：ちょっとまじめにソムリエ試験対策講座）

生産者：シャトー・オー・マレ Chateau Haut Mallet

（以下、文はトスカニーワイン専門店ルージュ 2020（シャトー・オー・マレより引用）

ルージュ 2020 世界有数のワインの銘醸地ボルドー。ドルドーニュ河とガロンヌ河の三角州地帯に広がるアントル・ドゥ・メール地区。ここで1920年にシャトー・オー・マレは誕生し、ブドン家によって代々受け継がれてきました。現在3代目パトリック・ブドン（中略）の父の代から除草剤や化学肥料を使わないビオロジック農法を進め、1995年には有機栽培の認証である「ECOCERT」を取得しています。

生産地：ボルドー アントル・ドゥ・メール地区

（以下、文・画像ともフィラディスワインクラブ「ボルドーとは、そしてボルドー・ワインとは一体何だろうか」より引用）



ボルドーのワイン産地を大別すると、一般的に左岸と右岸に分かれます。・左岸の赤ワインはカベルネ・ソーヴィニオン主体のがっしりタイプ。・右岸の赤ワインはメルロー主体のまろやかタイプ。

- 山下恵司会長挨拶、
- 川端嵩且幹事報告
- 出席報告：委員長より16名との報告
- 誕生日：(左)山下恵司会長、(右)1月西田隆昭会員



○OH-BOX 8名 35000円

- ★西田会員：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく。誕生日祝い。
- ★田中会員：明けましておめでとうございます。健康で楽しい1年でありますように。
- ★伊丹谷会員：明けましておめでとうございます。本年もよろしく！
- ★川端会員：本年もよろしく。
- ★浅山会員：新年おめでとうございます。本年もよろしくお祝い申し上げます。元気で良い1年でありますように。
- ★野村会員：明けましておめでとうございます。ことしもどうかよろしくお祈りいたします。
- ★浅井会員：明けましておめでとうございます。ことしもどうかよろしくお祈りいたします。
- ★宮田会員：新年あけましておめでとうございます。今年も宜しく御願ひ致します。

◎3分スピーチ (順不同)

会員姓	スピーチ概要 (会報担当：赤字の神社を記事にしました)
浅山	正月3が日に甥が来てくれ、毎日食事を作ったのですが、久しぶりで楽しかった。
菊川	最近、寝屋川の友人宅で正月を過ごしています。大勢の中で毎日楽しく過ごしました。
浅井	正月におせちを注文したのですが届かなかった。30日に買物しましたが、1日におせちが届きました。
田中	地元の「 こしき岩神社 」に初詣しました。自宅から3km程あります。
西宮	今年はモミジの紅葉が遅く、やっと31日に枯葉を集め、元旦朝に袋詰め。何とか元旦を迎えました。
伊丹谷	「 住吉大社 」に初詣。今年はずっと違い、太鼓橋が空いてました。おみくじは「笑う門には福来る」が印象的でした。
宮田	地元の神社で初詣。1月26日には40名程で伊勢神宮関連の神社巡りのバス旅行に行きます。
吉川	庭掃除中、転んで顔にケガをしました。おせちはうまくでき、孫からばあばのおせちが一番おいしいと言われました。
西田	今年2月に運転免許を返納します。30年無事故無違反でした。これからは転ばないようにします。転ぶと大変なことになるらしいので。
川端	良寛さんの「死ぬ時は死ぬがよし」に感銘。ゴルフは43回クラブ競技に参加し、1回優勝しました。
山下	最近1年半ほどゴルフはやっていません。思うようなスコアは出ず、ストレスが溜まる一方なので。
吉田	例年通り8時頃地元の「 イナツヒコ神社 」に初詣。帰りは歩けなくなり、息子にすがって帰りました。
野村	昨年は家族にケガ等災難が多かったので、今年は門戸厄神にお参りし、厄払いしたいと思っています。
笠松	今年は山に登りまろうかなと考えています。正月は京都の愛宕山へ行きました。雨に会いました。



大阪プロバスクラブ新年例会 2025年1月15日 (於ホテルモントレ大阪)

◎近況報告「地元のこしき岩神社に初詣しました」(田中 会員)



Google map より作成

★こしき岩神社のご神体

(以下、文・画像とも Wikipedia より引用)

越木岩神社は周辺の磐座群のほぼ南端に鎮座する「甑岩」を神社境内から遥拝するために、建立されたと考えられる。「甑岩」は周囲約40m・高さ10mの花崗岩である。酒米を蒸す時に使う「甑(こしき)」「セイロ」という道具に似ていることから「甑岩」と名づけられたと考えられる。また、岩上に雑木が生じた姿より、社名・町名も起こった。



★こしき

(以下、文・画像とも九州歴史資料館記事「甑(こしき)・甕(かめ)より引用)



出土遺跡

うきは市
仁右衛門畑遺跡

1号竪穴住居跡

古墳時代中期(5世紀頃)になると、朝鮮半島との交流が活発になり、(中略)さまざまな道具や生活様式も日本列島にもたらされました。甑(こしき)も、代表的な渡来系要素のひとつです。

◎近況報告「地元のイナツヒコ神社に初詣しました」(吉田 洲伸会員)

★イナツヒコ神社

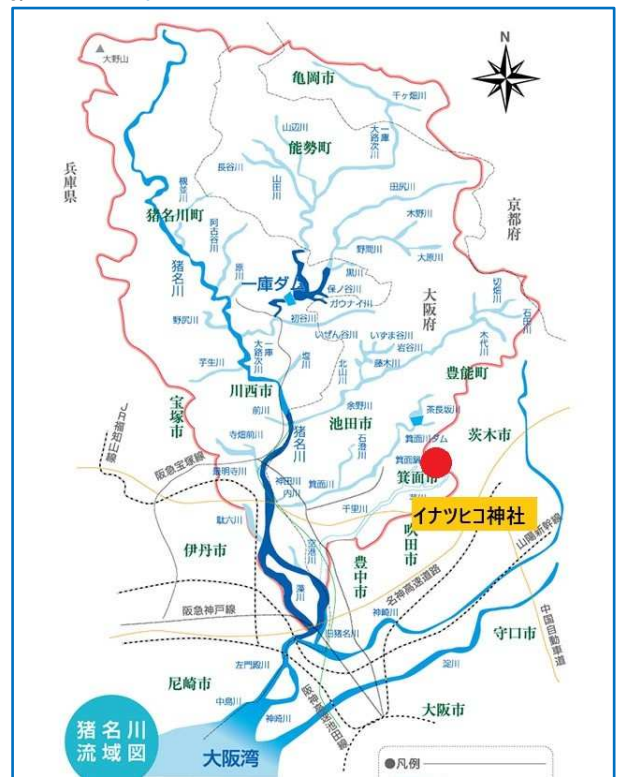
(以下、文・画像とも Wikipedia より引用)



★ご神体

主祭神：為那都比古大神、為那都比売大神

主祭神2柱(為那都比古神・為那都比売神)の神名の「いな」は、地名に由来する。「為那」のほか「猪名」等と表記され、猪名川流域(摂津国豊島郡・河辺郡)を指す広域地域の名称であった。(中略)猪名地方にいた豪族首長層の神格化と推測される。



猪名川流域図 (画像引用元：国土交通省サイトより)

◎近況報告「住吉大社に初詣に行ってきました」(伊丹谷 五郎会員)

★3分スピーチメモ

住吉大社に初詣。太鼓橋がいつもと違い空いていました。おみくじでは「笑う門には福来る」が印象に残っています。

●住吉大社の祭神

(以下、住吉大社公式HP「祭神の由緒」より引用)

伊邪那岐命(いざなぎのみこと)は、火神の出産で亡くなられた妻・伊邪那美命(いざなみのみこと)を追い、黄泉の国(死者の世界)に行きますが、妻を連れて戻ることができず、ケガレを受けてしまいます。そのケガレを清めるために海に入って禊祓したとき、住吉大神である底筒男命(そこつつのおのみこと)、中筒男命(なかつつつのおのみこと)、表筒男命(うわつつのおのみこと)が生まれまし

た。(会報担当：記紀では、その後、左の眼を洗い天照大神、^{あまてらすおみかみ}右の眼を洗い月読尊、^{つきよみのみこと}鼻を洗い素戔嗚尊^{すさのおのみこと}がお生まれになった。となっている。)

★上町台地南端、長峡（ながお）に鎮座

第十四代仲哀天皇の後である神功皇后（じんぐうこうごう）は、新羅遠征（中略）で住吉大神の加護を得て強大な新羅を平定せられました。

（以下、宇治谷孟著「日本書紀（上）現代語訳」講談社学術文庫、巻第9 神宮皇后より抜粋引用。）

皇后の船は難波に向かったところ、途中船が進まなくなった。（中略）住吉三神が教えて言われるのに「わが和魂を大津の淳中倉の長峡（＝優れた港に近く水の淀んだ狭い谷あい）」にいさしむべき。そうすれば往来する船を見守ることもできる」。そこで神の教えのままに鎮座していただいた。それで平穩に海を渡ることができるようになった。

●住吉津

（以下、日下雅義著「地形から見た歴史（古代景観を復元する）」講談社学術文庫 p217～219 を参考にした。）

・「長峡（ながお）」にあたる地形としては（中略）上町台地と西側の砂浜の間を南北に延びる幅 50～60mの水の淀んだ狭い水域が考えられる。

・「住吉津」は南北方向に延びる幅 50～60mの水の淀んだ狭い谷あい長峡東から流れる細井川が交差するところである。その西側の外海は砂浜で隔てられていたため、波が穏やかな良港となっていた。

・「砂浜」は入江（水が淀んだ 50m～60mの狭い谷あい＝長峡）の西側にあり、標高 5m～6mの住吉大社からは標高 3～4mの砂浜や松の木を隔てて大阪湾を望み、行き交う船を眺めることができた。

★航海守護神としての信仰

（以下、文・画像とも Wikipedia より引用）



（遣唐使船）

住吉大社については、海上交通の守護神とする信仰が最もよく知られる。『日本書紀』神功皇后紀には、鎮座した筒男三神の言に「往来船（ゆきかよふふね）を看（みそなは）さむ」とあり、当時には三神を航海守護神とした認識が認められる。

●上町大地の南端、海に面した住吉神社

★太鼓橋（反橋）

（以下、文・画像とも住吉大社「住吉さんの見所」より引用）

正面神池に架けられた神橋は「反橋」と称し、住吉の象徴として名高く「太鼓橋」とも呼ばれております。長さ約 20 m、高さ約 3.6m、幅約 5.5mで、最大傾斜は約 48 度にな

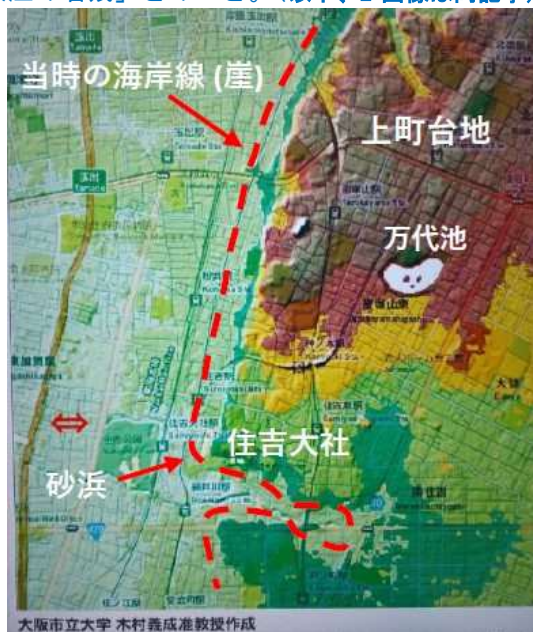
ります。この橋を渡るだけで「おはらい」になるとの信仰もあり、多くの参詣者がこの橋を渡り本殿にお参りします。



太鼓橋

★太鼓橋の架かる池は古代入り江の名残

「高低差」地形ウオーク第 18 回「上町大地海岸線の古代地形を探る 住吉大社」によると、「太鼓橋（反橋）のかかる池は古代入り江の名残」とのこと。（以下、2 画像は同記事）



★住吉大社と住吉津

（会報担当：上図の住吉大社付近の崖（海岸線）の外が海であり、住吉大社南側まで入江が入り込んでいる。上記では入江の名残としているので、南側の入江の一部が太鼓橋辺りまで「水が淀んだ狭い谷あい」として楔（くさび）状に入り込んでいたと想像する。長峡（ながお）である。さらにその西は砂浜とあるので、下図のように松の木が生えた白砂清松の浜と思われる。）



住吉大社「遣唐使進発」の碑（一部拡大した）

次回 第 403 回 通常例会 2025 年 3 月 12 日（水）
会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00